

平成26年3月

NPO 法人「奈良まほろばソムリエの会」

**『奈良「地理・地名・地図」の謎』(実業之日本社)が発刊！
～奈良が分かる知的ガイド本。NPO 法人「奈良まほろばソムリエの会」監修～**

本年3月10日(月)、実業之日本社(東京都中央区京橋 村山秀夫社長)から、『意外と知らない“まほろば”の歴史を読み解く！奈良「地理・地名・地図」の謎』(じっぴコンパクト新書)が発行されました(208ページ、本体価格762円)。京都、東京、大阪、北海道(刊行順)に次ぐシリーズ第5弾で、奥深い奈良の魅力がよく分かる「知的ガイドブック」です。

この本を監修したのが、特定非営利活動法人奈良まほろばソムリエの会(小北博孝理事長)です。当会は、奈良のご当地検定である「奈良まほろばソムリエ検定」(奈良検定)の最上級である「奈良まほろばソムリエ」の有資格者を中心とした会です(会員数243人:26年2月末現在)。昨年10月に監修の依頼をいただき、会員有志約20人により監修作業を行いました。本書は5章立てで、

- 第1章 奈良の古刹のミステリー地図・・・15項目
- 第2章 地図に残された古代王朝の足跡・・・12項目
- 第3章 大和に伝わる信仰・伝説の謎・・・14項目
- 第4章 古式ゆかしい地名のルーツ・・・15項目
- 第5章 古都奈良の「今」がわかる迷宮地図・・・22項目

裏表紙(カバー)には《「東大寺に神社の注連縄がかけられている門がある」「大和と難波を結ぶ、地図に隠された巨大な道があった」「かぐや姫の伝承地は奈良にあり!」「ピアノ所有率全国トップクラスなのには地理的理由がある!?!」・・・など。古刹に残された謎、古代王朝から伝わる信仰など、意外な歴史のエピソードを中心に集め、奈良県の「今」もわかってしまう一冊。奈良県人も驚く、観光するだけではわからない雑学ネタ満載の本》とあります。

当会では本書により奈良に興味をもつ方が増え、今まで以上にたくさんの方に奈良に来ていただきたいと願っています。また本書を「奈良検定」の参考書として活用することで、多くの方に検定を受験し、合格していただきたいと思います。

*NPO 法人「奈良まほろばソムリエの会」に関する照会先
専務理事 鉄田憲男(てつだのりお) 090-3485-2411